実施状況調査報告書（スポーツ振興くじ助成）

■活動概要

助成年度	令和７年度
助成団体	一般社団法人日本水中スポーツ連盟
事業細目名	スポーツ教室、スポーツ大会等開催（スポーツ）
事業名	関東オープンフィンスイミング大会
助成金額	1,226,000 円

令和７年度スポーツ団体スポーツ活動助成（スポーツ教室、スポーツ大会等開催）を活用し、一般社団法人日本水中スポーツ連盟が開催する「関東オープンフィンスイミング大会」の実施状況について調査を行いました。

本大会は、今年で第 22 回目となる歴史を重ねた大会です。フィンスイミングとは、足ヒレ（フィン）を装着して水面・水中を泳ぐスポーツ競技です。大会競技種目には一個人とリレーがあり、個人種目は、アプニア・サーフィス・CMAS ビーフィン・ビーフィン、リレー種目は、サーフィス・CMAS ビーフィン・ビーフィンがあります。当日は、個人種目の女子サーフィス 200m、男子サーフィス 200m、リレー種目の混合 CMAS ビーフィンリレー4×100mを視察しました。

■助成の意義

スポーツくじ助成金を活用したことで、参加者から徴収する参加費を抑えることが可能になり、同時に、競技種目や事業規模を縮小せず、活気ある大会を実施することができたそうです。

■事業効果を高めるための取り組み

情報発信として、関係団体と連携をとりながら、ホームページでの案内、広報誌での紹介、クラブ（登録団体）にメールで案内を送るなど、広く周知してもらえるように努めたそうです。元選手がスタッフ、審判、運営業務に従事するなど、役員も少しずつ増えているとのことで、このような方々が大会を支えていると感じました。

また、大会終了後には団体代表者、選手、関係者に対しアンケート調査を行い、今後も運営を含めた大会の内容を改善する取り組みを実施されるとのことです。

■所感

本大会は毎年実施されていますが、フィンスイミングに興味のある団体、個人の参加を広く歓迎しており、競技人口が増えているとお聞きしました。本大会の成績によっては、2026FISU 大学世界選手権（エジプト：シャルム・エル・シェイク大会）の代表選手を選考する予定とのことです。本大会出場選手の今後の活躍と、国内におけるフィンスイミング競技の更なる普及と発展を願っております。

（令和７年 10 月５日往査）

（写真）関東オープンフィンスイミング大会の様子	
	